

大学院商学研究科 会計学専攻 教員紹介

氏名	山下 修平 教授
専攻・コース	会計学専攻・アカデミックコース（昼間）
専修科目	会計史
担当科目	会計史特論Ⅰ・Ⅱ 会計史特論演習Ⅰ・Ⅱ
研究テーマ	戦時期日本における会計実務の変遷に関する研究 近代日本における会計専門職形成史
研究指導領域	研究対象は、「会計の歴史」です。誰かに「説明する」ことや、「記録と管理」の内容は、会計を取り巻く環境の変化とともに変遷してきました。最近は、戦前期・戦時期の史料を丹念に検証することにより、当時の会計実務や、会計専門職の変遷を明らかにしようと試みています。 講義では、上記の分野に限定することなく、会計史に係る書籍・論文を取り上げて輪読を行い、歴史研究を進めるうえでの知識やスキルを深めることを目指します。演習では、積極的にコミュニケーションを図りながら、修士論文の執筆をサポートしていくたいと考えています。
志願者へのメッセージなど	担当教員は、文学部史学科で学芸員の資格を取得し、監査法人での勤務経験のある異色の経歴ですが、常に会計と歴史に関心を寄せてきました。これまでに、戦前期・戦時期における企業の決算報告書や、職業会計人が記した書物などの史料に着目することで、会計実務の変遷を明らかにし、当時の職業会計人の役割を考察してきました。 現代の会計に関する諸問題を理解するためにも、歴史研究を進めることは意義があることと考えます。文献や史料に真摯に向き合い、「会計+歴史」の研究に取り組む意欲のある方の応募をお待ちしております。
研究者情報システムリンク	所属学会や学会発表、論文・著書などより詳細な情報は以下のリンクからご確認ください。 研究者情報システム 山下 修平教授ページ ※令和7年度から公開